

令和2年1月6日

各位

東京工業大学

すずかけサイエンスデイ実行委員会

委員長 久堀 徹

すずかけサイエンスデイ2020趣意書

「すずかけサイエンスデイ」は、昭和50年に東京工業大学大学院総合理工学研究科の3専攻等が目黒区大岡山から横浜市緑区の長津田地区に移転を開始したのを契機として、その「開設記念行事」として昭和54年に開催された「すずかけ祭」をルーツとしています。「すずかけ祭」は、教職員や学生に加えて、本学の同窓会（(一社)蔵前工業会）関係者、企業関係者及び地域住民の皆様をお招きして実施したことに始まります。近年はオープンキャンパスと同時開催され、すずかけ祭と合算すると42回目になります。

今年も本キャンパスで実施されている研究の内容やその成果等をわかりやすく説明し、キャンパスへの理解を一層深めていただくために研究室等を公開します。また、お子さんを含む地域住民、企業や一般の方々まで幅広い世代の皆様に楽しんでいただけるように、学生サークルや本学OBによる科学実験教室やコンサート、スタンプラリー、博物館の公開等、様々な企画も用意しております。

近年、子どもの「理科離れ」が叫ばれています。「すずかけサイエンスデイ」では、各研究室で行われている最先端の研究の紹介や、学生・OBによる科学実験教室、オープンキャンパス等の各種イベントを通じて、研究者や学生等との対話の機会を多く設けます。来場者に理科や科学の面白さ・楽しさ・プロセスを体感してもらい、自然な形で知的好奇心や興味を喚起する内容となっていますので、理科や科学をより身近に感じ興味をより高める絶好の機会となることを確信しています。

「すずかけサイエンスデイ」の来場者数は年々増加しており、2019年には過去最高の約4,000名となりました。

貴社におかれましては、すずかけサイエンスデイの内容をWEBにてご高覧の上、何とぞ我が国の科学の発展に資する取り組みとしてその趣旨にご理解とご賛同を頂き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(前回の報告書)

<https://www.titech.ac.jp/news/2019/044452.html>